

平成30年度 第2回食品技能検定

第3類 筆記試験

注意事項

1. 試験時間は50分です。
2. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
3. 解答は全て解答用紙に記号（1～4）で記入してください。
4. 問題には【共通問題】と【選択問題】があります。
 - ①【共通問題】は受験者全員が解答してください。
 - ②【選択問題】は（食品管理分野）と（食品流通分野）の2つがあります。いずれか1つの分野を選択し、解答してください。（両方の分野を解答してはいけません。）
5. 試験終了後、問題用紙・解答用紙とも試験監督に提出してください。

全国水産高等学校長協会
教科「水産」研究委員会（食品部会）

【共通問題】 20問

問1 GMP基本法に関する記述で正しいものを選びなさい。

- (1) 人の食用に供する食品の製造にのみ関する適正製造規範である。
- (2) 1969年に米国で施行された法律である。
- (3) 人の食用に供する食品の包装・保管にのみ関する適正製造規範である。
- (4) 我が国では厚生労働省が、これを参考に「適正規範」を作成した。

問2 滅菌、殺菌、消毒の方法について、化学的方法に含まれるものを選びなさい。

- (1) 逆性石鹼
- (2) 加熱
- (3) 超音波
- (4) 放射線

問3 製品の回収（リコール）について誤っているものを選びなさい。

- (1) 製品が市場に出荷後公衆衛生上の事故が発生した場合、直ちに市場あるいは流通段階から自主的に製品を回収しなければならない。
- (2) 企業はリコールを行う前に、事故の原因を解明する必要がある。
- (3) 企業は事故を拡大防止するための措置を講じなければならない。
- (4) 企業はリコールの対応を想定した体制を普段から整備しておかなければならない。

問4 「水産加工排水の特性」に関する次の記述で誤っているものを選びなさい。

- (1) BODの値を上げる原因になるタンパク質・脂肪・炭水化物などが多量に含まれている。
- (2) 大量の肉片・うろこなどを含み、SS値が高い。
- (3) 化学工場と同じで、有害物や重金属が含まれていることが多い。
- (4) 他の業種に比較して排水量が多い。

問5 食品衛生法の目的と範囲について、正しいものを選びなさい。

- (1) 食品衛生法の規制の範囲は、飲食物のほか、添加物、器具、容器包装、医薬品の一部にまで及んでいる。
- (2) 食品衛生法は、飲食や伝染性の病気に起因する衛生上の危害の発生を防止する。
- (3) 食品衛生法は、食品の製造、販売等に携わる食品営業者に対する衛生上および道德上の規制を示したものである。
- (4) 食品衛生法は、国民の健康の保護を図ることを目的としている。

問6 食品衛生行政と自主衛生管理について、正しいものを選びなさい。

- (1) 食品衛生に関する各種業務の遂行にあたっては、食品衛生監視員である。
- (2) 食品衛生行政は国の事務とされているため、都道府県に委託などはしない。
- (3) 食品衛生監視員が検査のため食品を収去する場合は、販売されている価格で購入して持ち帰る。
- (4) 食品衛生監視員は、立ち入りや、営業者及び従業員を指導する民間に委託された人である。

問7 経営と組織について、誤っているものを選びなさい。

- (1) 事業運営の最高責任者は経営者である。
- (2) 同種類の作業の中での責務や仕事内容（部長・課長・係長）の分化を水平的分化という。
- (3) 経営組織のそれぞれの部門において、専門的に指揮・管理する者が管理者である。
- (4) 企業規模が大きくなると、仕事を分担する仕組みが必要となる。これを仕事の分化という。

問8 品質管理の具体的方法として、直接関連のあるものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 自社の品質規格の決定
- イ 商品の販売価格の決定
- ウ 生産工程の管理と改善
- エ 販売と宣伝方法の改善

- (1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問9 化学分析に関する次の記述について、正しいものを選びなさい。

- (1) 定量分析では、揮発法、沈殿法、抽出法、電解重量法の4つの分離法があり、そのうち沈殿法が最も用いられる。
- (2) 化学分析は主として物質の成分を検出する定量分析と、その組成を調べる定性分析に分けられる。
- (3) 定量分析は、物質の成分が示す炎色反応、呈色反応、沈殿反応などを利用して、物質の成分を検出する方法である。
- (4) 定量分析は、取扱う試料の量によって常量分析法、半微量分析法及び微量分析法に分けられる。

問10 食品成分の分析目的として、正しいものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 食品の適正価格の判断
- イ 食品加工法の適否
- ウ 食品中の有効成分の発見や利用
- エ 食品の安全性の検査

- (1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問11 次の文中の（ア）～（カ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

第一に生産者と消費者は、別々の人だという（ア）的隔りがある。この隔りは、（イ）によって橋渡しされる。第二に生産地と消費地が違うという（ウ）的隔りがある。この隔りは、（エ）によって橋渡しされる。第三に生産される時期と消費される時期が違うという（オ）的隔りがある。この隔りは、（カ）することによって橋渡しされる。

- | | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (1) ア. 場所 | イ. 保管 | ウ. 時間 | エ. 取引 | オ. 人 | カ. 情報 |
| (2) ア. 人 | イ. 売買 | ウ. 場所 | エ. 輸送 | オ. 時間 | カ. 保管 |
| (3) ア. 時間 | イ. 情報 | ウ. 人 | エ. 売買 | オ. 場所 | カ. 輸送 |
| (4) ア. 人 | イ. 輸送 | ウ. 時間 | エ. 保管 | オ. 場所 | カ. 売買 |

問12 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

多くの消費者が日頃同じ用途に使う商品は、使用条件に合わせて適切な1つの基準を作り、形状や基本的に性能の同じ商品が大量に作られている。これを商品の（ア）という。我が国では日本工業規格（イ）や日本農林規格（ウ）がある。

- (1) ア. 標準化 イ. J A S ウ. J I S
- (2) ア. 製品化 イ. J A S ウ. J I S
- (3) ア. 製品化 イ. J I S ウ. J A S
- (4) ア. 標準化 イ. J I S ウ. J A S

問13 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

水産物の流通経路が複雑な理由として、水産物は種類が（ア）、商品としての品目や仕分けが（イ）であること。品質低下が（ウ）、また消費者は新鮮さを最も重視するので、（エ）な流通を必要としていることなどがあげられる。

- (1) ア. 少なく イ. 多様 ウ. 速く エ. 迅速
- (2) ア. 多く イ. 多様 ウ. 速く エ. 迅速
- (3) ア. 多く イ. 簡単 ウ. 遅く エ. 複雑
- (4) ア. 少なく イ. 簡単 ウ. 遅く エ. 複雑

問14 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

最寄品をはじめ買回り品から専門品まで各種商品を扱い、セルフサービス制の販売方式を中心として、大衆品を安く販売することを目指す（ア）小売業者を総合スーパーという。商品を安く販売するため、（イ）販売・持ち帰り制を原則とするほか、各地に多数のチェーン店を設け、大量仕入れ・大量（ウ）をはかるなどしている。

- (1) ア. 大規模 イ. 現金 ウ. 販売
- (2) ア. 大規模 イ. クレジット ウ. 消費
- (3) ア. 小規模 イ. クレジット ウ. 販売
- (4) ア. 小規模 イ. 現金 ウ. 消費

問15 次の文中の（ ）に入る適切な語句を選びなさい。

貿易を主としているが、国内取引でも多種類の商品などを、主として大手の一次卸売業者などと大口取引している業者を（ ）という。

- (1) 総合商社 (2) 一次卸売業者 (3) 特約店 (4) 二次卸売業者

問16 トレーサビリティシステムについて正しいものを選びなさい。

- (1) 食品を生産者から消費者まで、所定の低温に保持しながら流通するシステム。
- (2) 入出力やデータ伝送システムが、コンピュータと直接つながっているシステム。
- (3) 食品などの生産と流通に関わる履歴情報を、消費点から生産点にまでさかのぼって追跡するシステム。
- (4) コンテナに荷物を積み込んで輸送するシステム。

問17 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

個々の荷物を、標準化された（ア）にまとめて、輸送、保管、荷役などを一貫して行おうという（イ）の考え方が重視されるようになってきた。代表的なものとして、荷物を積み込んで輸送する（ウ）と、積み付けた荷物を途中で下ろすことなく輸送する一貫（エ）がある。

- (1) ア. エット イ. エットロードシステム ウ. パレチゼーション エ. コンテナゼーション
- (2) ア. ロット イ. ロットロードシステム ウ. コンテナゼーション エ. パレチゼーション
- (3) ア. エット イ. エットロードシステム ウ. コンテナゼーション エ. パレチゼーション
- (4) ア. ロット イ. ロットロードシステム ウ. パレチゼーション エ. コンテナゼーション

問18 水産食品のマーケティングについて誤っているものを選びなさい。

- (1) マグロを始めとする生食（刺身）用の魚種が伸びている。
- (2) 大型駐車場を完備し、集客力がある「おさかな市場」が全国で生まれている。
- (3) 生産者はさまざまな努力を重ね、自分たちの商品にブランドを付ける取り組みが進んでいる。
- (4) 骨付き魚（丸魚など）は多様に加工できるので伸びている。

問19 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

流通行政の目的は、（ア）活動の効率化を促進し、流通部門が（イ）部門や消費部門の健全な発展に寄与できる施策を行うことである。流通活動を効率化するためには、流通活動で活発な競争が行われ、優れた（ウ）や商流のシステムが生み出されることにより、消費者の利益になるようになることである。

- (1) ア．流通 イ．生産 ウ．物流
- (2) ア．商流 イ．消費 ウ．流通
- (3) ア．物流 イ．生産 ウ．消費
- (4) ア．物流 イ．消費 ウ．生産

問20 消費者保護に関する法規について誤っているものを選びなさい。

- (1) 消費者の利益の擁護および推進に関する対策の総合的推進を図り、国民の消費生活の安定および向上を確保することを目的に制定されたものを消費者基本法という。
- (2) 飲食料品等の品質や特別な生産方法で作られていることを保証する J A S 規格制度に関する法律を J A S 法という。
- (3) 計量の基準を定め、適正な計量の実施の確保を目的に制定されたものを計量法という。
- (4) 飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、公衆衛生の向上および増進を目的として制定されたものを食品安全基本法という。

【選択問題】（食品管理分野） 13問

問21 食品の製造衛生管理システムとしてHACCPシステムがある。これは当初はどのような食品の製造のために開発されたものか選りなさい。

- (1) オリンピック選手食
- (2) ダイエット食
- (3) 宇宙食
- (4) 大統領等のVIP用非常食

問22 食品工場の衛生管理の対象は大きく3つに分けられ、それは我が国の食品衛生法の規制や食品衛生監視の対象にもなっている。この「3つ」について正しいものを選びなさい。

- (1) ①：場所 ②：もの ③：人
- (2) ①：場所 ②：教育 ③：施設設備
- (3) ①：ところ ②：検診 ③：人
- (4) ①：服装 ②：もの ③：経営方針

問23 食品などの衛生的な取扱いについて、空欄に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

生産・流過程を把握し、十分な衛生管理が行われていることを（ア）で確認する。（イ）時には品質などを点検記録する。

床からの跳ね水による汚染を防止するためには床から（ウ）cm以上の場所で作業を行い、跳ね水の汚染を直接防止できる容器で取り扱う場合は、床から（エ）cm以上の場所で作業を行っても良い。

- (1) ア．口頭 イ．消費 ウ．30 エ．60
- (2) ア．文書 イ．消費 ウ．30 エ．60
- (3) ア．口頭 イ．仕入れ ウ．60 エ．30
- (4) ア．文書 イ．仕入れ ウ．60 エ．30

問24 「水質環境基準」について、直接関連のないものを選びなさい。

- (1) 人の健康の保護に関する環境基準：カドミウム、全シアンなど
- (2) 食品添加物の基準：保存料、酸化防止剤、殺菌料など
- (3) 生活環境項目：河川・湖沼ごとのpH、SS、BODなど
- (4) 富栄養化防止のための環境基準：全窒素、全リン

問25 悪臭原因物質とその特徴に関する次の組み合わせで誤っているものはいくつあるか、選りなさい。

- ア アンモニア：鼻をつく腐卵臭
- イ トリメチルアミン：不快なかび臭
- ウ 硫化水素：鼻をつく刺激臭
- エ 低級脂肪酸：酸敗臭
- オ アルデヒド：古い食用油の持つ刺激臭

- (1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問26 飲食に起因して人の健康を損なうおそれのある食品や添加物として販売を禁止されているもののうち、誤っているものを選びなさい。

- (1) 不潔、異物の混入または添加その他の事由により、人の健康を損なうおそれのあるもの。
- (2) 病原微生物によって汚染され、またはその疑いがあり、人の健康を損なうおそれのあるもの。
- (3) 色、色調、形などが異常で、商品価値がほとんど無いもの。
- (4) 有毒な、もしくは有害な物質が含まれ、もしくは付着し、またはこれらの疑いのあるもの。

問27 食品の検査について、誤っているものを選びなさい。

- (1) 食品や添加物等は都道府県知事または厚生労働大臣が指定した者の行う検査を受け、これに合格した表示がなければ、販売、陳列、または営業上使用することはできない。
- (2) 厚生労働大臣などが食品衛生監視員に命じて、食品関係営業施設を臨検させる権利を「臨検検査権」という。
- (3) 検査に必要な食品等は無償で収去できる権利を「収去権」という。
- (4) (1)の検査は、輸入されたものについては別に定められている。

問28 食品衛生法に定める営業について正しいものを選びなさい。

- (1) 営業許可を受けた後に、都道府県知事が定めた施設基準に合わなくなった場合、改善命令を受けなければならない。
- (2) 飲食店営業その他公衆衛生に与える影響が著しい営業を営もうとする者は、都道府県知事の許可を受けるとは限らない。
- (3) 営業許可を要しない営業については、その営業を停止されることはない。
- (4) 営業許可を受けた後に、都道府県知事が定めた施設基準に合わなくなっても、営業許可の取り消しされることはない。

問29 生産管理の原則と言われる「4つの手順：PDCAサイクル」のうち、誤っているものを選びなさい。

- (1) Plan (目標・計画を立てる)
- (2) Change (結果に改善点を加える)
- (3) Do (計画に従って実施する)
- (4) Action (結果を反省し、必要があれば計画の修正などの処置をとる)

問30 「実験の心得」として、正しいものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 実験操作は注意深く正確に行う。
 - イ 実験は、結果を最も重視するので、途中の過程にはあまりとらわれない方が良い。
 - ウ 実験中は私語を慎み、静かに実験すること。
 - エ 実験結果は客観的な考察より、主観的な考察が大切である。
- (1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問31 溶液の濃度の表し方について説明している次のうち、誤っているものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 質量パーセント：パーセント濃度を表すもののうち、溶媒と溶質の質量比を百分率で表したものの。
- イ 容量パーセント：パーセント濃度を表すもののうち、溶液と溶質の体積比を百分率で表したものの。
- ウ モル濃度：溶液10リットル中に溶けている溶質のモル数を表したものの。
- エ ファクター：作成された標準溶液と、設定しようとした標準溶液の濃度との誤差を、係数で表すもの。

- (1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問32 分析機器に関する次の記述について、空欄に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

分析機器にはpHを測定する(ア)や一定の電場で物質を分離・分析する(イ)などのほか、物質を溶媒によって抽出分離し、ろ紙や樹脂などの(ウ)の差によって各成分を分離する(エ)などの方法がある。

- (1) ア. バイセンサー イ. 分光分析機器 ウ. 疎水性 エ. 原子吸光分析装置
- (2) ア. イオンメーター イ. 電気泳動装置 ウ. 疎水性 エ. 原子吸光分析装置
- (3) ア. バイセンサー イ. 分光分析機器 ウ. 親水性 エ. クロマトグラフィー
- (4) ア. イオンメーター イ. 電気泳動装置 ウ. 親和性 エ. クロマトグラフィー

問33 微生物試験について、誤っているものを選びなさい。

- (1) 細菌試験の試験法は原液1mlずつを5本のチオグリコレート培地に接種し、 $45\pm 1^{\circ}\text{C}$ で 48 ± 3 時間培養する。
- (2) 缶詰、瓶詰、レトルト食品など発育しうる微生物の存否は、恒温試験と細菌試験で行う。
- (3) 恒温試験は $35\pm 1^{\circ}\text{C}$ で14日間貯蔵する。
- (4) 恒温試験で陰性であったものは細菌試験を行う。

【選択問題】（食品流通分野） 13問

問21 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

生産者から消費者の物流は、まず古代の（ア）で始まった。次いで貨幣を用いた売買による間接的な交換が行われるようになり、流通業の原点である（イ）が発生した。

明治時代の産業革命以後、流通業は細分化し、近年では、（ウ）を介さず直接生産者と取引する流通経路も構築されており、流通の主導権を（エ）が握るようになった。

- | | | | |
|-------------|---------|--------|--------|
| (1) ア. 売買取 | イ. 金融業 | ウ. 仲介業 | エ. 小売業 |
| (2) ア. 物々交換 | イ. 売買取 | ウ. 仲介業 | エ. 小売業 |
| (3) ア. 物々交換 | イ. 金融業 | ウ. 小売業 | エ. 仲介業 |
| (4) ア. 売買取 | イ. 物々交換 | ウ. 小売業 | エ. 仲介業 |

問22 現代の食生活について誤っているものを選びなさい。

- (1) 食事の方法でもファミリーレストラン、ファーストフードなどでの中食や、「テイクアウト」などの外食が増加している。
- (2) 女性の社会進出などにより、家庭の食事は簡便さと味覚の重視という二つの傾向を持つようになった。
- (3) 食材では冷凍食品、レトルト食品、インスタント食品、半調理加工食品が増加した。
- (4) 現代の食生活は、タンパク質や脂質、ビタミンなど栄養のバランスに重点が置かれるようになった。

問23 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

新しい商品の製品計画を立てる場合は、品質、（ア）、デザイン、需要量などを予測し、生産技術や（イ）、現在ある製品との関係などを参考にし、（ウ）を下げ、品質や性能の良い製品を作る。

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| (1) ア. 販売価格 | イ. 生産コスト | ウ. 規 格 |
| (2) ア. 生産コスト | イ. 規 格 | ウ. 消 費 |
| (3) ア. 販売価格 | イ. 規 格 | ウ. 生産コスト |
| (4) ア. 規 格 | イ. 生産コスト | ウ. 販売価格 |

問24 食料品の特性について、誤っているものを選びなさい。

- (1) 食料品は栄養素を含むことが必要である。
- (2) 食料品の特性は、食物としての特性と商品としての特性がある。
- (3) 食料品は多様な種類がある。
- (4) 多くの食料品は変質しにくいいため、貯蔵や輸送には時間の制限がない。

問25 無店舗小売業者の種類として誤っているものを選びなさい。

- (1) 廉価販売 (2) 訪問販売 (3) 通信販売 (4) 自動販売

問26 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

スーパーには、取扱商品や店舗規模などによっていろいろな種類がある。最寄品を中心に買回り品から専門品まで幅広く扱う大規模な（ア）、食料品を中心とした（イ）、ディスカウントタイプの総合スーパーである（ウ）などがある。

- | | | |
|------------------|--------------|--------------|
| (1) ア. スーパーマーケット | イ. 総合スーパー | ウ. スーパーセンター |
| (2) ア. スーパーマーケット | イ. スーパーセンター | ウ. 総合スーパー |
| (3) ア. 総合スーパー | イ. スーパーセンター | ウ. スーパーマーケット |
| (4) ア. 総合スーパー | イ. スーパーマーケット | ウ. スーパーセンター |

問27 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

卸売業者は、流通経路の中間にあって、商品を（ア）または卸売業者から仕入れ、これを（イ）や大口消費者に販売することを専門の業務とする（ウ）業者である。

- (1) ア. 生産者 イ. 商社 ウ. 情報
- (2) ア. 消費者 イ. 小売業者 ウ. 輸送
- (3) ア. 小売業者 イ. 商社 ウ. 金融
- (4) ア. 生産者 イ. 小売業者 ウ. 商

問28 次の記述の卸売業者はどれか選びなさい。

消費地において、産地から送られてくる生産物を卸売する卸売業者である。

- (1) 消費地卸売業者 (2) 専属卸売業者 (3) 集散地卸売業者 (4) 産地卸売業者

問29 卸売市場の機能について誤っているものを選びなさい。

- (1) 保護機能 (2) 決済機能 (3) 集荷機能 (4) 価格形成機能

30 次の語句の説明で誤っているものを選びなさい。

- (1) POSとは、販売時点情報管理システムのことである。
- (2) EDIとは、民間の自主的な品質管理規格である国際標準化機構のことである。
- (3) トレーサビリティとは、食品等の生産と流通に関わる履歴情報を、消費点から生産点にまでさかのぼって追跡するシステムである。
- (3) EOSとは、卸売業者と小売業者などの間でのオンラインによる補充発注システムである。

問31 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

市場で多数の売り手と買い手が相互に競争をしている市場では、価格の形成は需要量と供給量の関係に大きく左右される。このようにして決定される価格を（ア）価格という。市場全体が、限られた数社によって占められているような市場で形成される価格を（イ）価格という。また、1社のみが独占しているような市場で形成される価格を（ウ）価格という。

- (1) ア. 市場 イ. 独占 ウ. 寡占
- (2) ア. 競争 イ. 独占 ウ. 寡占
- (3) ア. 市場 イ. 寡占 ウ. 独占
- (4) ア. 競争 イ. 寡占 ウ. 独占

問32 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

今日では包装によるゴミの増加やそれに伴う（ア）問題などを背景として、包装の（イ）、合理化など包装の適正化が課題となっている。

包装は、（ウ）、内装、外装という3つの基本的な種類に分けられる。

- (1) ア. 環境 イ. 簡素化 ウ. 個装
- (2) ア. 衛生 イ. 簡素化 ウ. 個装
- (3) ア. 環境 イ. 利便化 ウ. 中装
- (4) ア. 衛生 イ. 利便化 ウ. 中装

問33 食品流通に関する法規について誤っているものを選びなさい。

- (1) 工業上の物品の意匠（デザイン）の保護と利用を図ることにより、意匠の創作を奨励し、産業の発達に資することを目的として制定されたものを意匠法という。
- (2) 生鮮食料品の価格の安定と流通の円滑化を図ることを目的に制定されたものを卸売市場法という。
- (3) 発明の保護および利用を図ることにより、発明を奨励し、もって産業の発達に寄与することを目的に制定されたものを実用新案法という。
- (4) 自社や自分が生産、加工あるいは販売している商品に使用される商標を保護することにより、需要者の利益を保護することを目的に制定されたものを商標法という。